

課題と方向性

①わが国の生物多様性の総合的な把握

課 題	方 向 性
わが国における生物多様性の状況や「2010年目標」への対応状況等を総合的に把握し、わかりやすく示すこと。	わが国の生物多様性の状況やその保全のための取組状況をわかりやすく示すことについては、環境基本計画に盛り込んだ指標等も踏まえつつ、広報のあり方も含めてより効果的な手法をさらに検討。 MAやGBO2も参考に、社会経済的な要素も含めたわが国の生物多様性を総合的に把握することについて、具体的手法も含め検討。

②地球規模の生物多様性保全の視点

課 題	方 向 性
わが国の国民生活が地球規模の生物多様性に支えられていることやわが国に生息する鳥類・魚類等の中には地球規模で移動する種もあること等も踏まえ、地球規模の視点での取組を一層推進すること。	○地球規模の生物多様性のモニタリングについて、国内外の専門家とのネットワークや官民の連携等の強化により、わが国としての貢献を強化。 ○日常の暮らしが地球規模の生物多様性に依存していることに対する関心を高めること、農林水産施策とも連携して地域の自然資源の一層の有効活用や持続可能な生産活動に係る認証制度の普及を進めること等について、国、地方さらには民間企業等の協力による総合的な取組として推進。 ○国境を越えて移動する動物の生息環境の保全や生物多様性が豊かな地域の保全について、特にアジア太平洋地域におけるネットワーク化を通じた連携強化や人材育成等の国際協力を推進。